

TOMORROW

未来への

扉を

ひらこう。

福井県長期ビジョン 2020→2040

未来への扉をひらこう。

OPEN TOMORROW



私たちが暮らす福井県は、豊かな自然に恵まれ、千年を超える歴史や文化の厚み、家族や地域社会のつながり、優れた子育て・教育環境、充実した産業・雇用、そして勤勉な人材力が受け継がれており、「幸福度日本一」と評価されています。

さらに、北陸新幹線の福井・敦賀開業など、高速交通ネットワークの整備が進むことにより、日本海国土軸の中心に位置する本県の地理的な優位性がさらに向上します。福井県は今、県勢を大きく飛躍させる100年に一度のチャンスを迎えています。

一方で、国内では人口減少や高齢化が進み、世界規模では地球温暖化やグローバル化に伴う格差の拡大など、多くの困難に直面しています。こうした課題を乗り越え、「持続可能な明るい未来」を描いていくことが必要です。

今こそ、長期的な展望に立ち、未来志向で県政を進めていくときです。

福井県のさらなる発展を目指して、2040年を目標とする「福井県長期ビジョン」を策定しました。「みんなで描こう『福井の未来地図』」をコンセプトに、5千人を超える県民のみなさんにご参加いただき、つくり上げたこのビジョンは、これから私たちが歩いていく“道しるべ”となります。

新しい時代にあたり、最も大切なことは「チャレンジ」です。

県民のみなさんが主役です。みなさん一人ひとりの夢を実現するためのチャレンジが、ワクワクドキドキの「ふくい未来」をつくります。

ふくいの明るい未来に向かって、ご一緒に歩いていきましょう。

令和2年7月

福井県知事 **杉本 達治**

福井県長期ビジョン 目次

はじめに	1
1 策定の趣旨と構成	3
2 策定コンセプト ～策定過程からの県民参加～	4
第1部 将来構想	7
1 世界の潮流と環境変化	9
（1）世界の潮流	10
潮流1 世界人口の増加	10
潮流2 新興国の成長と経済のグローバル化の進展	10
潮流3 エネルギー需要の増加と地球温暖化	12
潮流4 食料需要の増加	12
潮流5 持続可能な開発目標（SDGs）	14
（2）国内・県内の環境変化・見通し	16
変化1 人口減少	16
変化2 長寿命化（「人生100年時代」の到来）	20
変化3 大交流化（新幹線、高速道路等の交通網整備）	22
変化4 技術革新（-Society5.0- 未来技術の実用化拡大）	26
変化5 価値観の進化（寛容性と多様性）	28
2 福井県の特徴	30
特徴1 自然や食の豊かさ	30
特徴2 家族や地域のつながり	32
特徴3 充実した子育て・教育環境	32
特徴4 人材力の高さ	34
特徴5 安定した産業・雇用基盤	34
3 2040年の福井県の将来像	37
（1）基本理念	38
（2）2040年に福井県が目指す姿	40
（3）基本目標	46
（4）将来イメージ 「2040年のふくい」	48
（5）2040年に向けた長期プロジェクト	55
（6）地域別の将来像	62
福井坂井地域	64
奥越地域	66
丹南地域	68
嶺南地域	70

第2部 実行プラン	73
1 基本的な考え方	75
2 新時代スタートアッププロジェクト	76
(1) ふくいエンタメ計画 ～ふくいの魅力をとがらせよう～	78
(2) 次世代チャレンジ宣言 ～チャレンジで未来をつくろう～	79
(3) しあわせアクション運動 ～一人ひとりがプレイヤーになろう～	80
3 分野別政策	81
I 学びを伸ばす（人材力）	85
政策1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成	86
政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり	92
政策3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現	98
政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援	106
II 成長を創る（産業力）	113
政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ	114
政策6 地域経済のイノベーション	122
政策7 Society5.0時代の新産業創出	128
政策8 拡大する世界市場をふくいの成長へ	136
III 楽しみを広げる（創造力）	141
政策9 100年に一度のまちづくり	142
政策10 北陸新幹線開業効果を最大化	152
政策11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略	158
政策12 文化・スポーツがふくいの活力	164
IV 安心を高める（地域力）	171
政策13 人生100年時代の健康ライフスタイル	172
政策14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉	178
政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持	184
政策16 防災・治安先進県ふくいの実現	192
V とともに進める（総合力）	201
政策17 「チームふくい」の行政運営	202
政策18 広域パートナーシップの強化	210
4 SDGsの各ゴールに向けた主な取組みとKPI	216

第3部 地域プラン	221
1 基本的な考え方	222
2 各地域の方向性	224
I 福井坂井地域	224
II 奥越地域	232
III 丹南地域	238
IV 嶺南地域	244
推進方針	253
1 ビジョンの推進方針	255
付属資料	257
1 ビジョンの策定経過	259
2 県民アンケート	266

はじめに





1 策定の趣旨と構成

〔策定の趣旨〕

わが国は本格的な人口減少・超高齢化社会に突入し、世界的には経済社会のさらなるグローバル化や地球温暖化が進行するなど、時代の大きな転換期を迎えています。

その中で福井県は、2040年に人口が64.7万人に減少すると推計（国立社会保障・人口問題研究所推計）される一方、同時期までには北陸新幹線やリニア中央新幹線の全線開業など、立地条件が飛躍的に向上していると考えられます。

高速交通体系の完成を最大限に活かしながら、人口減少はもとより、長寿命化、技術革新など今後想定される社会環境の変化に対応し、県民の皆さんと将来像を共有して福井県のさらなる発展に向けて行動していくため、「福井県長期ビジョン」を策定します。

〔構成と期間〕

第1部 将来構想	福井県の目指すべき将来像を展望 (目標年次 2040年)
第2部 実行プラン	今後5年間に実行する政策を分野別に具体化 (計画期間 2020年度～2024年度)
第3部 地域プラン	県内4地域における政策の方向性等を整理 (計画期間 2020年度～2024年度)

2 策定コンセプト ～ 策定過程からの県民参加 ～

将来像の実現のためには、一人ひとりのアクションが重要です。

このため、「みんなで描こう『福井の未来地図』」を策定コンセプトに掲げ、策定のプロセスから多くの県民の方々に参加していただき、問題意識の共有を図りました。

(長期ビジョン策定コンセプト)

みんなで描こう「福井の未来地図」
～次世代のために、今わたしたちができること～

〔長期ビジョン推進懇話会の設置〕

長期ビジョンの方向性や将来像、具体的な政策などについて大きな観点から検討を進めるため、県内外の有識者や各分野の代表者等からなる「長期ビジョン推進懇話会」を設置し、議論を進めてきました。



長期ビジョン推進懇話会

〔有識者によるセミナーの連続開催〕

技術革新やSDGs、医療・介護制度など、様々な課題に関する最新の知見を学び、県民と広く共有するため、各分野の第一人者を招いた公開セミナーをシリーズ開催してきました。



有識者によるセミナー

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 第1回「世界文明と福井文化の共生」 | 進士五十八氏 |
| 第2回「A 技術で語る福井の未来」 | 伊本貴士氏 |
| 第3回「創造基盤で未来をつくる」 | 片木孝治氏 |
| 第4回「SDGsによる新たな価値の創造」 | 蟹江憲史氏 |
| 第5回「人生100年時代の安心ライフ」 | 遠藤久夫氏 |
| 第6回「文化×エンターテイメント」 | パトリック・ハラン氏、進士五十八氏、朝倉由希氏 |
| 第7回「A 時代に活躍できる人材と育成方法」 | 伊本貴士氏 |
| 第8回「地域の秘密が未来をつくる」 | 玄田有史氏、宇野重規氏、中村尚史氏 |

〔様々な意見交換会の実施〕

県民から広く意見をお聴きするため、市町別、世代別、分野別など幅広く意見交換を行いました。また、県民一人ひとりに長期ビジョンについて知っていただき、行動を起こしてもらおう機運を高めるため、出前ワークショップを行ってきました。

市町別意見交換会では、すべての市町において、まちづくり関係者、自治会関係者、企業経営者、農業者、市町議会議員や市町職員など、年代、性別、職業を問わず様々な立場の方から、福井県の良いところや課題、望ましい将来像等について、意見をお聴きしました。

世代別意見交換会は、学生・若者・子育て世代の3グループに分かれ、2日間をかけて行いました。1日目はカードゲーム「SDGs de 地方創生」を通して持続可能な社会づくりについて学び、2日目はワークショップ形式で、目指すべき福井の将来像や実現のための方策について、初めてグラフィック・レコーディング※も導入しながら話し合いました。



世代別意見交換会

※グラフィック・レコーディング：会議や議論の様子を、文字だけでなく図や絵を用いてリアルタイムに可視化する手法



(学生グループ)



(若者グループ)



(子育てグループ)

分野別意見交換会は、各団体の会合や現地訪問など様々な機会を活用して開催し、産業、医療・福祉、教育など、各分野の現場で活動している方々と意見交換を行いました。

また、県外在住の本県出身者や、県内で活動する県外学生、地域おこし協力隊など福井を知る県外関係者の方々からも、福井県への期待を込めて意見をいただきました。

このほか、出前ワークショップとして、学校や企業・団体を訪問し、皆さんからご意見をお聴きするとともに、目指す将来像等について話し合いました。



出前ワークショップ（中学校）

〔「FUKU」未来トーク」の開催〕

都道府県で初めて「地方兼業」を行う都市人材を公募し、ビジョンの広報戦略を担う「未来戦略アドバイザー」として委嘱しました。

アドバイザーと企画した「FUKU」未来トーク」を開催し、学生や若者、子育て世代などのグループが、将来像の実現に向けた今後の活動について話し合い、一人ひとりの「私のアクション」を発表しました。



未来トーク（子育て世代）

〔県民アンケートの実施〕

県民の皆さんを対象として、無作為抽出による県民アンケートも実施し、2,504名から回答をいただきました。全体の82%の方が「福井県で暮らしてきてよかった」と回答し、県民が現在の暮らしにおおむね満足していることが分かりました。

〔フェイスブックページの開設〕

専用フェイスブックページを開設し、懇話会や出前講座、連続セミナーを動画配信するなど、策定過程の情報発信にも努めてきました。

策定過程に参加いただいた皆さんは、延べ5,000名を超えました（県民アンケート含む）。多くの方々の参加により策定した長期ビジョンを共通の行動指針とし、県、市町、企業・団体、そして県民一人ひとりがプレイヤーとなり、実現に向けてともに行動していきます。



意見交換会等におけるワークシート①



意見交換会等におけるワークシート②